

インマヌエル中目黒キリスト教会 2016年12月11日聖日礼拝

アドベント第3 聖日礼拝

「エッサイの根株から若枝が」

イザヤ書

11章1節～10節

竿代照夫牧師

聖書朗読 旧約聖書

イザヤ書

11章1節～10節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会)を使用しています

第二版の聖書は 1048 ページ

第三版の聖書は 1143 ページ

- 1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。
- 2 その上に、主の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。
- 3 この方は主を恐れることを喜び、その目の見るところによってさばかず、その耳の聞くところによって判決を下さず、
- 4 正義をもって寄るべのない者をさばき、公正をもって国の貧しい者のために判決

を下し、口のむちで国を打ち、くちびるの息で悪者を殺す。

5 正義はその腰の帯となり、真実はその胴の帯となる。

6 狼は子羊とともに宿り、ひょうは子やぎとともに伏し、子牛、若獅子、肥えた家畜が共にいて、小さい子どもがこれを追っていく。

7 雌牛と熊とは共に草をはみ、その子らは共に伏し、獅子も牛のようにわらを食う。

- 8 乳飲み子はコブラの穴の上で戯れ、乳離れした子はまむしの子に手を伸べる。
- 9 わたしの聖なる山のどこにおいても、これらは害を加えず、そこなわない。主を知ることが、海をおおう水のように、地を満たすからである。
- 10 その日、エッサイの根は、国々の民の旗として立ち、国々は彼を求め、彼のいこう所は栄光に輝く。

説教

アドベント第3聖日

「エッサイの根株から若枝が」

イザヤ書

11章1節～10節

竿代照夫牧師

主テキスト

「エッサイの根株から新芽が生え、
その根から若枝が出て実を結ぶ」
(イザヤ書11：1)

1 . 預言の背景（ 7 章から 11 章まで ）

- ユダの危機において画策せずインマヌエル（共なる神）に頼れ（ 7 章 ）
- 侵略の只中で神は守り給う（ 8 章 ）
- 平和の象徴なる「みどりご」王(9章前半)
- 悔改めぬ北イスラエルは裁かれる(9章後半)
- 破壊者アッシリヤが破壊される(10章)
アッシリヤは神の審判の道具(5-6節)であるのに、その道具性を忘れる高ぶり故に彼らも裁かれ(7、15-16節)、その裁きは全土に及ぶ(33-34節)

2 . 若枝としてのメシヤ(11章1節)

- 廃墟からの生命
滅びの中から希望の新芽が生える
(レムナント)
- ダビデ王国の継承
メシヤはエッサイ(ダビデ王)の家系
から生まれる
- メシヤの象徴としての「枝」

2 . 若枝としてのメシヤ(11章1節)

- ・ イザヤ 4章2節

その日、主の若枝は麗しく、栄光に輝き、地の実は、イスラエルの逃れた者の威光と飾りになる。

- ・ ゼカリヤ 3章8節

私は、わたしの僕、一つの若枝を来させる

- ・ ゼカリヤ 6章12節

見よ、ひとりの方がいる。その名は若枝。彼のいるところから芽が出て芽を出し、主の神殿を立て直す。

- ・ エレミヤ 23章5節

見よその日が来る。その日私はダビデに一つの正しい若枝を起す。彼は王となって治め、栄えてこの国に公義と正義を行なう。

2 . 若枝としてのメシヤ(11章1節)

- ・ エレミヤ 33章15節

その日、その時、わたしはダビデのために正義の若枝を芽生えさせる。彼はこの国に公義と正義を行なう

- ・ ダビデ王朝の断絶と継承
神の驚くべき歴史支配

3 . メシヤの人物像 (11章2-3a)

- 御霊が留まる
- 御霊は、
知恵、 悟り、 はかりごと、
能力、 主を知る知識、
敬虔をもたらす
- 主イエスは御霊に満たされていた
(ルカ4 : 18)

4 . メシヤの統治原則 (11章3b-5)

- 公平さ
- 弱者の保護
- 悪への厳しさ
- 真実と正義

5 . メシヤの王国 (11章6-10)

- ・ 信じられないような平和的關係
- ・ 幼子による支配
- ・ 主を知る知識が充満
- ・ 世界に拡大する

おわりに

私達への挑戦

絶望の中に希望を見出そう
神の国を経験し、広げよう